岩盤ボーリング柱状図

調査名	主要地方道西城比和線外測量設計地質調査業務委託（道路改良・単独）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No.6	調査位置	広島県庄原市比和町三河内	北緯	34°58’05.4360″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所	調査期間	平成30年 8月28日～平成30年 9月 5日	東経	133°02’22.4944″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	698.30m	角度	180° 上 / 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 / 東 90° 180° 南
総削孔長	20.00m	地盤勾配	23° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 YBM-05型 / エンジン ヤンマーディゼルNFD-9 / ポンプ GP-3

標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率(%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事
697.60	0.70	表土	黒								有機質な粘性土質砂。（黒ボク）
683.70	14.60	崩積土	暗灰～茶灰							[0]	全体に、硬質な凝灰岩の礫や転石が混じる粘性土質砂である。 GL-1.45～5.90mは、φ230mm以下の礫や転石が多く存在し、その間を粘性土質砂が充填する。 GL-5.90～9.80mは、粘性土質砂が主体となり、φ30mm以下の礫が混じる。この間は含水率が非常に高く、粘性分を多く含む。 GL-9.80～14.60mの間は、φ350mm以下の転石と礫が主体で、粘性土質砂がその間を充填する。 GL-12.45～14.00mの間の凝灰岩にジグソー状の破断が見受けられる。 GL-2.85～3.00、9.50～9.80、11.80～11.90mの間はややひん岩の組織を残している。
681.30	17.00	風化ひん岩	茶褐～淡緑灰	w5	h1 / h2 / h1	E	Ⅵ～Ⅴ	d	DL	0 (100) 0[0](100) 0[0](100)	砂状～礫状を呈す、ひん岩。全体的に酸化し茶褐色である。 GL-15.45～16.00mはやや変質し部分的に粘土を呈す。
678.30	20.00	ひん岩	暗灰～茶灰	w4～w3	h1	D～C	Ⅴ～Ⅳ	c	DH	0[0](100) 15[15](100) 0[0](100)	礫状～短柱状を呈すひん岩。 30～80°程度の割れ目が存在し、その周辺は酸化が進み茶灰色となる。 所々に凝灰岩の礫も混入する。

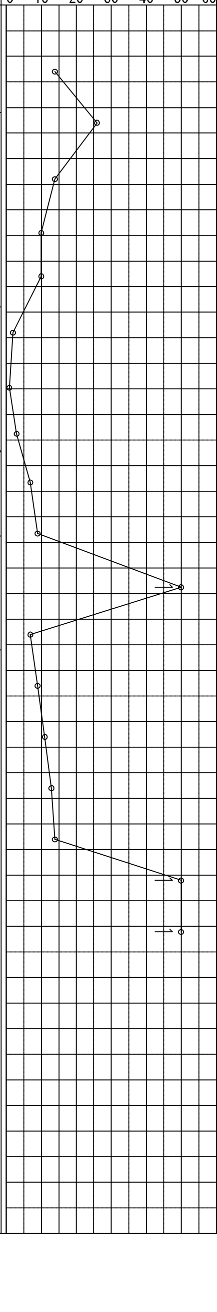
孔内水位／測定月日

測定月日	孔内水位 (m)
8/29	2.10
8/30	5.90
8/31	8.71
9/4	10.37
9/5	12.60

標準貫入試験

深度 (m)	打撃回数／貫入量	N値	50回の貫入量
1.15～1.45	14/300	14	
2.15～2.45	26/300	26	
3.25～3.55	14/300	14	
4.30～4.60	10/300	10	
5.15～5.45	10/300	10	
6.15～6.65	2/500	2	
7.15～7.80	1/650	1	
8.15～8.60	3/450	3	
9.15～9.50	7/350	7	
10.15～10.50	9/350	9	
11.25～11.50	50/250	50以上	250
12.15～12.45	7/300	7	
13.15～13.45	9/300	9	
14.15～14.45	11/300	11	
15.15～15.45	13/300	13	
16.15～16.45	14/300	14	
17.00～17.21	50/210	50以上	210
18.00～18.22	50/220	50以上	220

深度－N値図



削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	600	100／ケーシング	S/MC	200	50	0	W1/0	0
	72		HW/DI			0	W3/7	7
8/28	56							
	114		HW/DI	200	150	0	W3/10	10
	86							
	77							
8/29	75							
	1050	90／ケーシング	S/MC	100	50	0	W1/0	0
	900							
	750							
8/30	750							
	58		HW/DI	200	150	0	W3/7	0
	57							
8/31	67					0	W3/7	7
	70							
	150	66	S/打込み	0	0	0	W1/0	0
	150		S/打込み					
	89		HW/DI	200	150	1	W3/7	3～0
9/3	88							
	76					1	W3/7	3～0
9/4	83							